

いっしょにツインユ

第53号

平成 31 年 1 月
発行: 依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL : 0268-68-0281
FAX : 0268-68-0283

新年のごあいさつ



施設長
石橋 久夫

新年明けましておめでとうございます。
今年は、平成が終わり、新たな年号を迎える大きな節目の年になります。



おたや祭山車 上中町第2場
日本遺産認定 最古の長和町ブランド
星箕峠黒曜石鉱山採掘の場

平成の30年間、日本という国の国体としての文化を継承され、その伝統精神を支え続けてこられたのも、象徴としての天皇陛下と皇后陛下の人柄によるところが極めて大きいと思われます。両陛下の常に国民目線で、戦没者に対する哀悼の意や被災者に対する心のこもった暖かい励ましは、どんなにか、その辛い心の癒しになったことでしょうか。天皇の生前退位に伴い、皇太子殿下に譲位されるわけですが、新たな年号になっても、この日本の素晴らしき伝統をしっかりと受け継いでいただきたいと心より願っています。

平成の時代を振り返った時、この30年間の社会変化の中で、電子機器の飛躍的進歩には目を見張るものがあります。現在のIT産業の主役を担う携帯電話やパソコンは各個人や家庭での必需品となり、これなくしては、日々の生活は成り立ちません。店舗を持たないネット販売も今後の商業の主流となります。また、AIと呼ばれる人工知能の社会参加も現実的なものになりつつあり、人間にとって代わる、次の時代の花形になる可能性が示唆

されます。それゆえに、改めて、人間としての生き方や心のあり方が問われる時代になり、人間としての精神文化を見直す機会になるのではないかと期待しています。

■理想の老健を求めて■

老健いこいは、平成20年に新棟を増設し、入所利用者増への対応と通所リハビリの拡張充実といったハード面の強化を図り、そして、ソフト面では、全職員が結束し、地域包括ケアシステムの拠点として、理想的な老健施設を目指して頑張ってきました。在宅復帰・在宅支援という老健いこいの理念の実践、利用者満足、職員満足を軸として、それを支える「全人的ケア&全人的リハビリ」という考え方を徹底してきたのです。

現在、その成果が確実に現れつつあります。以前に比べると、入所しているお年寄りの表情も豊かになり、会話がはずみ、笑顔があふれるようになりました。居室で休んでいることよりも、ホールで仲良く作業に取り組んでいる姿の方が目

立つようになってきたのです。そして職員の表情も充実した笑顔で輝いています。また、昨年の介護保険制度の改正で、老健施設は5段階に分類され、その最上位が超在宅強化型老健であります。老健いこいでは、これまでの取り組みの成果が実を結び、直ちにその認定を受けることができました。今後も、超在宅強化型にふさわしい取り組みを進めて参ります。

我々が、徹底して取り組んできたことは、心身の機能が低下し、生きる力の弱まってきているお年寄りに、心のこもったケアやリハビリを通して「あなたのいのちが、こんなにもみんなに大切にされているんですよ！」というメッセージを常に伝え続ける努力をしてきたことにあります。その結果として、徐々に生きる力が回復してきたものと思われま

老健いこいでは、家族の皆さんと全職員の協力によって、お年寄りを敬い大切にす

新年の行事



蘭玉づくり(1月15日)



新年会「餅つき」(1月16日)



『言葉の力』

介護福祉士 大井奈美

私はいこいで働いていて、人と関われる仕事だからこそ得られる楽しさや喜びがあると感じています。

今まであまり笑顔が見られなかった方や不安そうにしている方に、声掛けをしたとき表情が和らいだり、笑顔でご自身の若いころの話をされたりするのを見るとうれしくなります。普段の何気ない会話や冗談を言い合う中にも笑顔が生まれ、介護という仕事ならではの楽しさがあります。

また、ご利用者からの声掛けで優しさをいただいています。担当するユニットが変わっても顔を合わせれば声を掛けてくださったり、以前私が怪我をした時には自分のことのように心配していただき、私自身もご利用者の言葉で温かい気持ちになることがたくさんあります。

反面、日々の関わりの中で、言葉の受け取り方の違いから意図せず不快な思いをさせてしまうこともあり、その部分で対人サービスの難しさを感じることもあります。

言葉には宿っている不思議な力「言霊」があり、ポジティブな言葉にはプラスの、ネガティブな言葉にはマイナスの力があるとのこと。ご利用者が穏やかに・元気に生活を送っていただけるよう、言葉の持つ力を意識して、ポジティブな声掛けを心がけ、ご利用者に寄り添い笑顔が溢れる関わりができるよう日々努力していきます。



(平成30年11月・12月の出来事)

長門小学校2年生交流会

(11月15日)

子供たちのエネルギーあふれるダンスを、ご利用者も手拍子で盛り上げました。玉入れや肩たたきなどのふれあいを通してたくさん笑顔がいただきました。

ふれあい

忘年会

(入所…12月20日、

通所…12月4・5日)

入所・通所共にハーモニカ演奏ボランティアの皆様にご来訪いただきました。心に染み入る美しい音色を聴きながらゆつたりと一年を振り返りました。

←通所
リハビリテーション
センターの忘年会
↓入所部門の忘年会



★編集後記★

新年明けましておめでとうございます。平成という時代が終わる年の幕開けとなりました。新しい年号は4月1日に発表されるとのこと、どんな年号になるのか気なるところです。

さて、「亥年」について調べてみると、過去には地震の発生が多かったようです。地震に限らず最近では自然災害が多発しています。が、本年は「災」と縁遠い良き一年となることを願います。

(編集委員)